

令和7年度高の原周辺の街づくり予算

高の原駅広場整備(4億2701万円)

※令和7～9年度まで限度額12億9520万円の債務負担行為設定

まちびらきから50年を迎えた平城・相楽ニュータウンの玄関口である高の原駅において、住民の区域を越えて地域住民や事業者とのつながりによる公共空間の活用を目指して、令和9年度の完成に向けた駅前広場整備工事が行われます。国土交通省によるまちなかウォークラブル推進事業による補助(事業費の50%充当)を活用しています。

具体的には、すすらん館前、イオンモール前、北部会館前、ロータリー前が整備されます。また高の原第一自転車駐車場跡地については民間事業者による活用が検討されます。奈良市、木津川市、精華町をつなぐ高の原地区がさらに住みよい、子育てしやすい住環境となるよう努めて参ります。



高の原橋・橋梁等長寿命化修繕工事委託費(2億円)

※令和8年度完了予定

市が管理する市道橋は662橋が対象です。そのうちⅢ判定・早期措置段階(45橋)やⅣ判定・緊急措置段階(3橋)については早急の改善が必要となります。市道中部第1055線に架かる鉄道をまたぐ高の原橋においてもⅢ判定に該当し、今後増大する老朽化に対応するため、予防的な修繕に取り組んでいます。

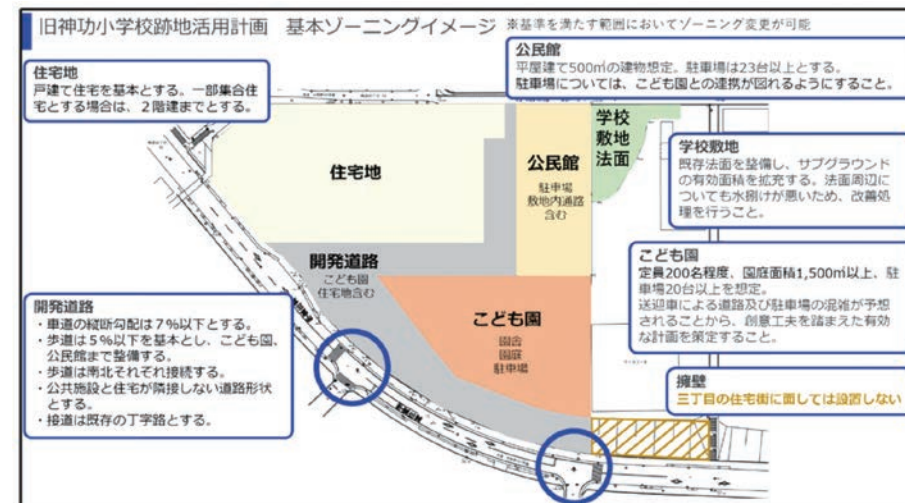


旧神功小学校跡地の活用について

令和7年6月定例会において、神功小学校区跡地について公共施設や住宅地への利用の用途を目的として、3億600万999円で相手方民間企業へ財産処分により譲渡する議案が議決されました。

同敷地内では住宅開発とともに、地域住民からのご要望により、神功こども園ならびに平城西公民館の建替要望に沿った事業が展開される見通しです。私は地域住民から開発行為に係る安全面、環境面の配慮についてのご要望をお聞きしてまいりました。今後とも新たな地域の顔として同地区がリニューアルできるよう行方を見守ってまいります。

●旧神功小学校跡地活用計画に係る基本ゾーニングイメージ



※あくまでも令和7年3月の予算審議の段階でのイメージです。